

令和6年能登半島地震に伴う上下水道施設の対応状況

- 国土交通省は、全国自治体の上下水道職員や関係団体などと連携し、上下水道一体となった復旧支援を実施（のべ約66,600人（水道：約33,000人、下水道：約33,600人（4月11日時点））
- 石川県、富山県等6県38事業者で最大約13.6万戸が断水。4月16日時点で95.3%が断水解消済み
断水解消は立入困難な地域等の一部地域を除き、能登町は4月中、輪島市、珠洲市は5月中の見込み
※断水解消は水道事業が管理する配水管の復旧を示す。引き続き、宅内配管の対応を進めることが必要
- 下水道管路の流下機能は珠洲市を除いて確保済み。珠洲市は立入困難な地域等の一部地域を除き4月中に機能確保見込み
- 「上下水道地震対策検討委員会」を3月12日に設置し、上下水道施設の被害を踏まえた今後の地震対策のあり方や上下水道一体での災害対応のあり方などについて議論を開始
- 4月1日に「能登上下水道復興支援室」を設置し、上下水道の技術職員を七尾市に常駐させ、復旧を技術的にサポート

○水道の断水解消の状況

現在の断水戸数/最大断水戸数

珠洲市

支援：名古屋市等

約3,340戸 / 約4,800戸

輪島市

支援：東京都、横浜市等

約1,560戸 / 約11,400戸

能登町

支援：大阪市等

約340戸 / 約6,200戸

○珠洲市【応急対応事例】
宝立浄水場に可搬式浄水装置を設置

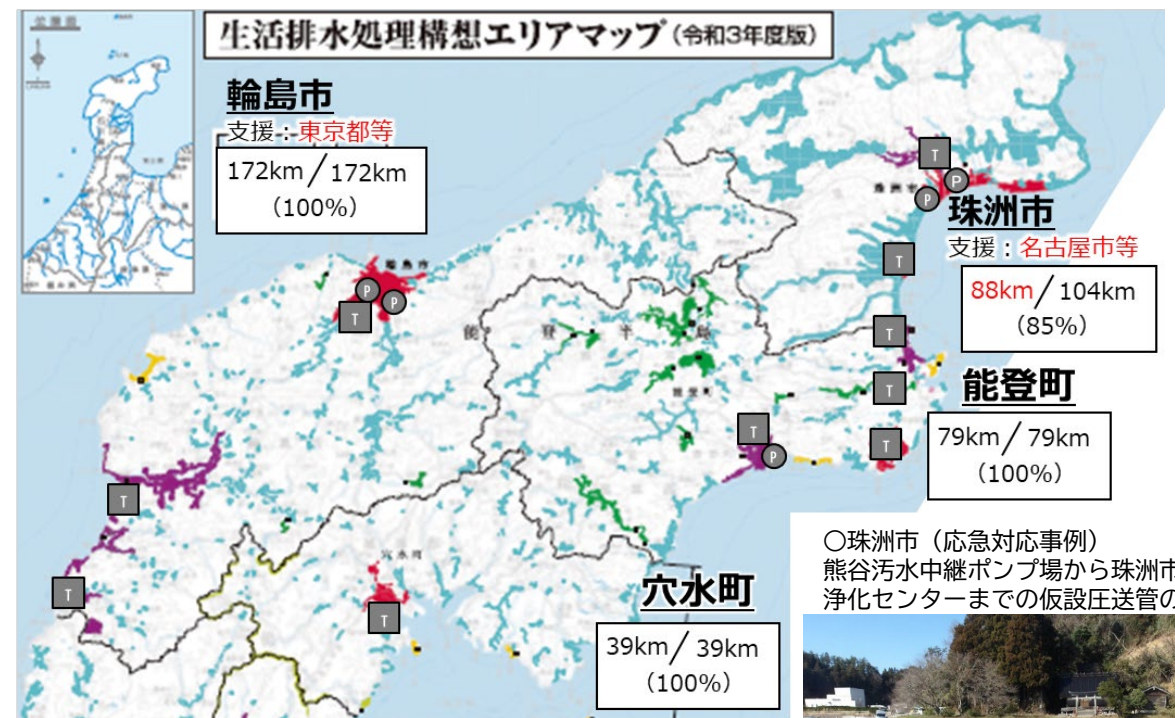


	4月末 解消見込み
	4月～5月末 解消見込み

各市町公表資料を基に作成

○下水道の管路流下機能確保の状況

流下機能確保延長/全管路延長
(流下機能確保率)



○珠洲市（応急対応事例）
熊谷汚水中継ポンプ場から珠洲市
浄化センターまでの仮設圧送管の布設



※汚水処理施設の早期復旧に向けて、
集落排水施設（農水省）、浄化槽（環境省）と連携